<領域：人間と社会>

人間の尊厳と自立

問題　1　次の記述のうち，介護福祉職がアドボカシー(advocacy)の視点から行う対応として，**最も適切なものを1つ**選びなさい。

1　介護を行う前には，利用者に十分な説明をして同意を得る。

2　利用者の介護計画を作成するときに，他職種に専門的な助言を求める。

3　利用者個人の趣味を生かして，レクリエーション活動を行う。

4　希望を言い出しにくい利用者の意思をくみ取り，その実現に向けて働きかける。

5　視覚障害者が必要とする情報を，利用しやすいようにする。

問題　2　Aさん(83歳，女性，要介護3)は，脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症で左片麻痺(ひだりかたまひ)があり，介護老人福祉施設で生活している。家族から，「できることは自分で行ってほしい」と希望があり，Aさんは自室から食堂まで車いすで自走することを日課としている。

1週間前から，介護福祉士養成施設の学生がAさんのフロアで実習を開始した。数日前からAさんは実習生に，「今日は腕が痛いので，食堂まで車いすを押してください」と依頼するようになった。悩んだ実習生は，実習指導者に相談をした。

実習生に対する実習指導者の最初の助言として，**最も適切なもの**を**1つ**選びなさい。

1 「Aさんの腕は痛くないので，気にしないでください」
2 「どのようなときも，Aさん自身で行ってもらうことが必要です」
3 「ご家族から自分で行うように，言われています」
4 「それは自立につながらないので，車いすを押さないでください」
5 「Aさんが依頼する理由を，まず考えてみることが大切です」